

マルシロン[®]配合錠

服用時にご注意いただきたいこと

マルシロン[®]配合錠のようなエストロゲン・プロゲステンを配合する製剤は、副作用として**血栓症**（血管に血のかたまりができて詰まってしまう病気。心筋梗塞、脳梗塞、肺塞栓症を含む。）があらわれる可能性があります。

血栓症の早期発見のためにも、**定期的な診察**を受けてください。

次のような症状があらわれた場合は、すぐに救急医療機関を受診してください。

- 突然の足の痛み・腫れ
- 手足の脱力・まひ
- 突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み
- 激しい頭痛、舌のもつれ・しゃべりにくい
- 突然の視力障害（見えにくいところがある、視野が狭くなる） など

以下の方は血栓症があらわれやすいので特に注意が必要です。

- 40歳以上の人
- 喫煙している人
- 肥満の人
- 血縁に血栓症になった人がいる人
- 前兆のない片頭痛がある人
- 軽度の高血圧の人、妊娠中に高血圧になったことのある人
- 心臓弁膜症の人

患者携帯カードを常に持参し、他院を受診する場合には必ず提示してマルシロン[®]配合錠を服用していることを医師・薬剤師・看護師などに伝えてください。

特に、以下の場合には注意してください。

- 手術の予定がある、手術を受けたばかりである
- あらたに他の薬やサプリメントの服用を開始する時
- 医師・薬剤師・看護師などから薬を服用しているかどうかを尋ねられた時

長時間同じ姿勢でいたり水分が不足したりすると、血栓症が起こりやすくなります。適度に体を動かしたり、こまめに水分をとるようにしましょう。

けがや病気、ギプスで足を固定しているなど、長い間足を休めている場合や飛行機など長時間の移動の際には注意が必要です。

※より詳しく知りたいことがある場合には、医師・薬剤師・看護師などにご相談ください。